

## 2010 年度春季大会の告示

### I. 大会の案内

1. 期 日  
2010 年 5 月 23 日（日）～26 日（水）  
午後：シンポジウム  
第 4 日（5 月 26 日）  
午前：口頭，ポスター  
午後：専門分科会
2. 会 場  
国立オリンピック記念青少年総合センター  
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1  
<http://nyc.niye.go.jp/>  
専門分科会の日程は 23 日か 26 日の、どちらか片方になる可能性があります。
3. 研究発表  
口頭及びポスター形式で行われます。研究発表の詳細につきましては下記「IV. 研究発表要領」をご参照下さい。
5. シンポジウム  
大会第 3 日（5 月 25 日）の午後に開催予定です。テーマは「災害軽減に向けたシビア現象予測の将来」です。
4. 大会日程  
大会は以下の日程で行われる予定です。  
第 1 日（5 月 23 日）  
午前：口頭，ポスター  
午後：公開気象講演会，専門分科会  
第 2 日（5 月 24 日）  
午前：口頭，ポスター  
午後：総会，受賞記念講演，懇親会  
第 3 日（5 月 25 日）  
午前：口頭，ポスター
6. 懇親会  
大会第 2 日（5 月 24 日）の夕刻に，大会会場にて開催予定です。
7. 大会ウェブサイト【2010 年 1 月 15 日（金）開設予定】  
本大会では，講演申込み受付や大会プログラムの掲載などを行うための大会ウェブサイトを，2010 年 1 月 15 日（金）より開設する予定です。URL 等の詳細につきましては，気象学会ホームページ（<http://www.soc.nii.ac.jp/msj/>）をご参照下さい。

### II. 大会参加手続き

#### 1. 講演を行う場合の参加申込方法

原則として大会ウェブサイト上からオンラインで行って下さい。 オンラインで予稿原稿を送付できない場合や，クレジットカードによるオンライン決済ができない場合など，止むを得ない事情がある場合は，郵送による申込を受け付けます。

なお，大会参加登録・参加費支払済みであることを講演申込資格とさせていただきますのでご注意ください。

##### 1.1 オンラインによる申込

- ・締切：2010 年 2 月 16 日（火）15 時（日本時間）
- ・大会ウェブサイト参照し，指示に従って申し込みをして下さい。
- ・大会ウェブサイト上で最初に個人情報と ID・パスワードの登録を行います（前回の ID・パスワードはそのまま利用することはできません。お手数ですが，改めて個人情報と ID・パスワードの登録を行って下さい）。この ID とパスワードによって登録システムにログインし，大会参加登録・講演申込・予稿送付・大会参加費決済などを行います。

- ・個人情報とIDの登録は講演者本人が行ってください。登録された個人情報と異なる氏名・所属での講演申込はできません。
- ・講演申込の前に、予め大会参加登録と大会参加費の払込(クレジットカード決済)を行ってください。大会参加登録と大会参加費の決済が行われていない場合、講演申込は受け付けられません。
- ・オンライン決済の際には、個人情報登録者本人以外の名義のクレジットカードも使用可能です。
- ・予稿原稿もウェブサイトよりご送付下さい。ファイル形式はPDF(容量の上限は1MB)に限ります。
- ・講演申込み締め切り(2月16日(火))までは、ウェブサイト上において、一旦申し込んだ講演申込の登録内容の修正や予稿原稿の差し替えなどを行うことができます。ただし講演のキャンセルはできません。

## 1.2 郵送による申込方法【事務負担軽減のため、なるべくオンライン申込をご利用下さい】

- ・締切：2010年2月9日(火) 必着  
(オンライン申込に比べて締切日が1週間早くなっています。ご注意ください。)
- ・以下の3点を講演企画委員会事務局(下記)までお送り下さい。
  - ① 予稿原稿
  - ② 講演者氏名(漢字とローマ字)、会員番号、講演種別、連絡先(住所・電話番号・E-mailアドレス)、講演題目、主・副キーワードと、使用機器を書いたもの(様式は自由です。)
  - ③ 郵便振替払込受領証(次項参照)
 送付先：  
〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1  
気象研究所予報研究部内  
気象学会講演企画委員会事務局  
(封筒の表に「講演申込」と朱書して下さい。)
- ・講演申込の前に、以下の要領に従って郵便振替によって大会参加費を納入して下さい。
  - 一口座番号は「00130-3-5958」、  
加入者名は「日本気象学会」です。
  - 「通信欄」に以下の項目を記入して下さい。
    - ①「2010年度春季大会参加申込」と明記
    - ②会員番号(非会員の場合は「非会員」と明記)
    - ③大会参加種別(講演者Aまたは講演者B)

- ④大会参加費金額
- ⑤懇親会費金額
- ⑥合計金額

- 「払込人住所氏名」の欄に、住所・氏名・電話番号をもれなく記入して下さい。
- 払込料金は本人負担をお願いします。

## 1.3 講演のキャンセルについて

- ・講演申込み後は、講演のキャンセルはできません。止むを得ず大会参加や発表を取り止める場合でも、すでに支払われた参加費・懇親会費は返却いたしませんのでご注意下さい。
- ・大会当日に講演者の都合が悪くなった場合の代理発表につきましては、柔軟に対応いたしますので講演企画委員会(kouenkikaku2010s@metsoc.jp)までご相談下さい。

## 2. 講演をしない(聴講のみ)場合の参加手続き

以下のいずれかの方法で参加費等を納入して下さい。事務負担軽減のため、なるべくオンライン(大会ウェブサイト)による事前登録をご利用下さい。

### 2.1 オンラインによる申込

2010年4月6日(火)までに大会ウェブサイトで開催登録し、参加費を払い込んで下さい(クレジットカード決済のみ)。

### 2.2 郵送による申込方法【事務負担軽減のため、なるべくオンライン申込をご利用下さい】

- ・2010年3月30日(火)までに、郵便振替で参加費を払い込んで下さい。
  - 一口座番号は「00130-3-5958」、  
加入者名は「日本気象学会」です。
  - 「通信欄」に以下の項目を記入して下さい。
    - ①「2010年度春季大会参加申込」と明記
    - ②大会参加種別(聴講者)
    - ③大会参加費金額
    - ④懇親会費金額
    - ⑤合計金額
  - 「払込人住所氏名」の欄に、住所・氏名・電話番号をもれなく記入して下さい。
  - 払込料金は本人負担をお願いします。

## 2.3 大会当日に会場で申込

当日会場で参加登録をして、参加費を現金で支払って下さい（当日料金は前納と比べて割高となっていますのでご注意ください）。

## 3. 参加費、懇親会費

### 3.1 大会参加費

- 大会参加費（消費税込）は以下の表の通りです。

大会参加費		
種別	前納	当日
講演者 A	8,000 円	—
講演者 B	5,000 円	—
聴講者	3,000 円	4,000 円

- 講演者の種別：

講演者 A：研究機関・大学に所属する講演者（ただし、学部生・院生は除く）

講演者 B：講演者 A に該当しない講演者

- 講演件数が 2 件の場合も大会参加費は変わりません（講演件数による加算はありません）。

### 3.2 懇親会費

- 懇親会費（消費税込）は以下の表の通りです。今回は、格段に参加しやすい料金を設定いたしました。

た、世代を問わず多くの方々に参加していただき交流を深めたいと思います。

懇親会費		
種別	前納	当日
一般	3,500 円	4,000 円
学生	2,500 円	3,000 円

- 懇親会費はオンラインもしくは郵便振替で参加費と同時に前納することが出来ます。また当日会場で支払うことも可能ですが、当日料金は前納と比べて割高となっていますのでご注意ください。

### 3.3 その他

- 一旦支払われた参加費・懇親会費は返却いたしません。
- 大会参加費・懇親会費の種別は、支払い時点での所属によって判断して下さい。一旦支払われたあとの所属変更などによる種別の変更はいたしません（追加の支払い請求や差額の払い戻しなどは行いません）。
- 領収書は大会当日受付で発行させて頂く予定です。
- 参加当日は、参加登録・決裁完了メールのプリントアウト等を持参いただくと、よりスムーズに受付を行うことが可能です。

## Ⅲ. 予稿原稿作成要領

### 1. 原稿サイズ・枚数

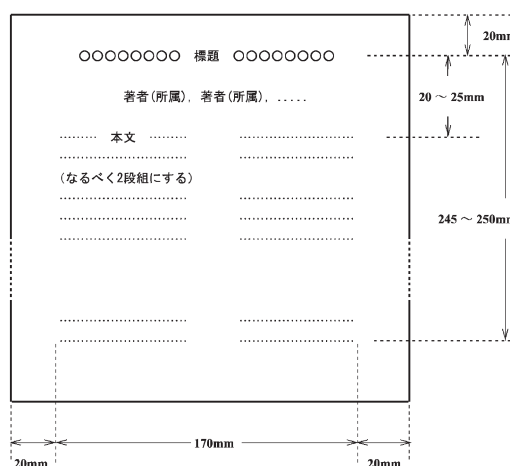
1 件あたり A4 判 1 枚とします。

### 2. 作成方法

大会ウェブサイトから申込みをする場合のファイル形式は PDF（容量の上限は 1 MB）とします。郵送する場合は A4 用紙に直接出力するか、別紙に作成した文書・図表を用紙に糊付けして下さい。

### 3. 印刷

原稿は B5 サイズに縮小されて白黒でダイレクト製版されます。階調のある写真や図は、明瞭度が落ちる場合がありますので作成時にはご注意ください。特に、カラーの写真や図は明瞭度が極端に落ちる場



図： A4 判用紙による予稿原稿の作成要領

合がありますので、予めご承知おき下さい。

#### 4. 配置（付図参照）

記載範囲は縦 250mm×横 170mm 以内とし、上部には 20mm の余白をとって下さい。最上段に標題、その下に著者と所属を書き、本文をその下につけて下さい。著者が複数の場合には講演者の左肩に＊を

つけて下さい。標題から本文までの間隔は 20～25mm として下さい。本文はなるべく 2 段組（左半分→右半分）にして下さい。

#### 5. 著作権

予稿集に掲載された文章および図表の著作権は（社）日本気象学会に帰属します。

### IV. 研究発表要領

#### 1. 発表の種類

講演方法には、口頭発表（専門分科会を含む）とポスター発表の 2 種類があります。

#### 2. 発表件数の制限

1 講演者あたりの発表件数は 2 件以内とします。

ただし内容がほぼ同一と見なされるテーマでの 2 件の発表は認められません。この制限に抵触する申込があった場合には、講演企画委員会が適切に対応します。

#### 3. 講演方法の選択について

講演方法（口頭／ポスター）につきましては講演申込時に選択できますが、申込件数や会場の都合等により希望通りにならない場合があることを予めご了承下さい。なお、講演申込時に講演方法の希望がない場合は、講演企画委員会の裁量で振り分けを行います。

#### 4. 口頭発表の概要

口頭発表の講演時間は全て同一とします。1 件あたりの講演時間は、口頭発表に配分された時間の総計を申込件数で割ったものを目安として講演企画委員会が決定し、大会プログラムに掲載します。

#### 5. 専門分科会の概要

- ・専門分科会は、大会第 1 日（5 月 23 日（日））または大会第 4 日（5 月 26 日（水））の午後で開催予定です。
- ・専門分科会の各講演の講演時間はコンピーナーが決定し、大会プログラムに掲載します。

- ・専門分科会への講演申込み締切日は一般講演と同じ（オンライン申込は 2 月 16 日（火）、郵送申込は 2 月 9 日（火））です。
- ・専門分科会に申し込まれた発表については、コンピーナーが予稿を審査して、専門分科会での発表を認めるかどうかを判断します。
- ・専門分科会に申し込まれた発表が、コンピーナーによって専門分科会に適さないと判断された場合には、一般発表に振り替えます。
- ・各専門分科会の詳細につきましては、「V. 専門分科会のテーマと趣旨」をご参照下さい。

#### 6. ポスター発表の概要

- ・ポスター発表の時間は 1 時間程度とします。ポスター発表の時間には他の行事は行われません。
- ・ポスターの掲示・撤去は、講演者の責任で行って頂きます。
- ・掲示スペースは縦 150 cm×横 180 cm 程度です。なお、ポスターは大きな紙 1 枚に書く必要はなく、小さい紙に分けて書いたものを当日並べて掲示しても構いません。

#### 7. 講演における機器の使用について

- ・口頭発表（専門分科会を含む）につきましては、PC プロジェクターと OHP が使用できますが、それ以外の機器は使用できません。
- ・OHP を使用したい場合は、講演申込時に届け出て下さい。講演申込時に届けがない場合は PC プロジェクターを用いた発表とみなします。
- ・PC プロジェクターを使用する場合は、以下の点に留意して下さい。

- ーパソコンは各自でご準備下さい。会場にはプロジェクター及び接続ケーブルのみを準備します。
- ーセッション開始前の休憩時間などを利用して、必ず接続の確認を行っておいて下さい。接続に不安がある場合は、その際に会場係に申し出て下さい。
- ー突然の故障や接続の際のトラブルが発生した場合、座長の判断で発表順の繰り下げなどの対応をすることがあります。携帯用メディアによるバックアップファイルの準備など、トラブルへの備えは講演者自身で行って頂くようお願いいたします。
- ・ポスター会場での機器の使用を希望する場合は、機器の名称およびその使用方法を、講演申込み時に届け出てください。ただし会場の都合により、その要望が受け入れられる保証はありません。
- ・ポスター発表への申し込みをする場合も、プログラム編成上の都合により口頭発表に振替になった

場合を想定して、口頭発表時の使用機器の届出をお願いします。

## 8. その他

- ・申込まれた予稿の内容が、(ア) 気象学とは全く無関係である、(イ) 極めて非合理的・非論理的である、(ウ) 他者を誹謗中傷する部分がある、等の理由により、講演を認めることが適当でないとして講演企画委員会が判断した場合には、講演を認めないことがあります。
- ・大会プログラムは「天気」4月号及び大会ウェブサイトに掲載されます。
- ・口頭発表セッションにおける座長は、テーマごとに発表者の中から選ばれることが多くなっています。講演企画委員会が、座長候補者を選び、候補者へはその承諾に関する打診を行いますので、その際にはご協力願います。

## V. 専門分科会のテーマと趣旨

2010年度春季大会では下記の通り、2件の専門分科会が開かれます。

### 1. 「気象・気候に対する山岳の影響」

趣旨：山岳域は、空間スケールや広域循環場などに応じ、気象に対して様々な影響を及ぼす。従来から、これらの影響はメソ・総観規模・半球規模といったスケールに区分されて議論されがちである。しかし、熱力学的作用はスケール間で連動し、発現する時間スケールも準定常的な気候形成から突発的現象まで様々である。本セッションでは、筑波山スケールからチベット高原スケールまで、様々な地域における様々な空間スケールで山岳の影響を受けた気象・気候に関する研究成果を持ち寄り、空間・時間を横断するメカニズムの認識や今後の気候変化に対する山岳域の果たす役割を議論する事を目的とする。

コンビーナー：上野健一（筑波大学生命環境科学研究科）、里村雄彦（京都大学大学院理学研究科）、余 偉明（東北大学大学院理学研究科）

### 2. 「様々な時間スケールでのデータ同化とアンサンブル予測」

趣旨：近年、情報科学やコンピューター技術の急速な発展を背景として、より精度の高い初期値を作成するデータ同化技術や、初期値や数値モデルに含まれる不確実性を考慮するアンサンブル技術の開発が盛んに行われている。これらの技術は、現業数値予報センターにおけるメソ短期予報、全球中期予報、季節予報のみならず、地球温暖化予測研究においても欠かすことのできない技術となりつつある。本分科会では、招待講演者にデータ同化技術とアンサンブル技術に関連する話題を提供してもらい、数日、週間から季節、地球温暖化に渡る幅広い時間スケールの予報/予測を横断的に見渡し、様々な時間スケールでの予測に必要な知見や技術は何かを考える機会としたい。

コンビーナー：松枝末遠（地球科学技術総合推進機構/気象庁気象研究所）、中澤哲夫（気象庁気象研究所）、榎本 剛（海洋研究開発機構地球シミュレータセンター）、経田正幸（気象庁予報部数値予報課）、

## VI. 非会員の大会講演について

気象学会会員でない方は原則として大会講演を行うことは出来ません。しかしながら、短期滞在の外国人や他分野の研究者が気象学会において講演を行う場合を考慮して、講演企画委員会では以下の規定を満たすものに限り非会員が大会講演を行うことを認めています。

1. 共著者の中に会員が含まれていれば、非会員

の講演を認める（予稿に会員である共著者の氏名と所属を明記すること）。

2. ただし、専門分科会に関しては各コンベンターの判断にゆだねる。

なお、講演企画委員会としては、継続的に大会発表を行いたい人には会員になって頂くよう強く要請します。

## VII. 研究会活動への支援について

講演企画委員会では、大会期間中またはその直前・直後に会員が自主的に運営する研究会活動に対し、一般の会員が自由に参加できることを条件として、可能な支援をします。支援を希望する方は、次の事項を明記の上、講演企画委員会（E-mail: kouenkikaku2010s@met.soc.jp）へ申し込んで下さい。

申込期限：2010年2月16日（火）

記入事項：1. 会の名称とテーマ

2. 代表者の連絡先
3. 希望日時・開催場所
4. 予想参加人数
5. 希望する支援内容

大会会場の利用について

春季大会で口頭発表の行なわれる4会場は、5/23、5/25の夜間に、研究会開催のために利用できます。

## VIII. 大会期間中の保育支援について

大会実行委員会では、大会期間中の保育施設として、次の施設を紹介致します。

- ・セルリアンタワーポピンズキッズルーム

〒150-0031 東京都 渋谷区桜ヶ丘 26-1

セルリアンタワー東急ホテル 3F

TEL: 03-5728-1377, FAX: 03-5728-1377

URL: <http://www.poppins.co.jp/room/detail/70>

利用可能時間：08:00～23:00

アクセス：渋谷駅から徒歩約5分

利用料金は10:00～20:00の時間帯は2,625円/1時間、それ以外の時間帯は3,150円/1時間です。（2名以上

の兄弟・姉妹の場合割引あり）

大会実行委員会では、利用料金の一部を補助する予定です。上記の施設、及びそれ以外の保育施設の利用等、保育支援をご希望される方は、2010年4月23日（金）までに下記担当者までご連絡ください。また、それ以外のお問い合わせにもできる限り対応致しますので、ご連絡をお願いします。

連絡先：平井雅之（気象庁 地球環境・海洋部 気候情報課）

E-mail：m-hirai@met.kishou.go.jp

TEL：03-3212-8341（内線4834）

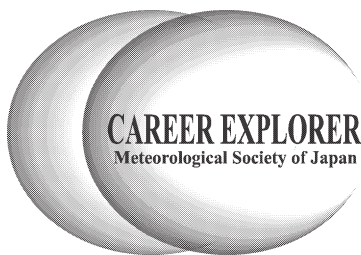


## IX. キャリアエクスプローラーロゴの試験的導入について

### 1. キャリアエクスプローラーロゴの趣旨

近年、社会問題化している若手・任期付研究者のキャリア形成をサポートするために、日本気象学会では、キャリアエクスプローラーロゴを2009年度秋季大会から試験的に導入しました。これは、広く学術に貢献する人材の育成および活動支援の一貫として行うもので、会員が望ましいキャリア形成のために求職中の場合に、適職に出会うのをサポートします。(同様の取り組みが応用物理学会で2007年から行われています。)

### 2. キャリアエクスプローラーロゴ



講演予稿や講演資料の中でこれを表示することで自分が求職中であることを表明できます。カラーと白黒のロゴの電子データを学会ホームページから取得できます。

### 3. 使用方法

ポスドクを含む任期付研究者や学生で求職中の会員、またはそれに準ずる会員が講演する場合に、講演予稿および講演資料の中で、キャリアエクスプローラーロゴを使用できます。

1. 講演予稿：白黒ロゴを、タイトルの左側に、余白にはみ出さないよう適度な大きさと挿入してください。
2. 口頭発表：発表資料の任意の場所に分かりやすく表示してください。
3. ポスター発表：タイトル付近の分かりやすい場所に表示してください。

### 4. 使用に関する注意

1. 日本気象学会およびその会員の主催する講演会においてのみ使用できます。
2. 講演会は学術的な講演・議論を目的に行われます。口頭発表の時間内は、求職・求人に関する議論はご遠慮ください。
3. ロゴは講演者本人の責任の下で使用してください。その使用により生じた如何なる利益・不利益に対しても、日本気象学会は一切責任を負いません。
4. ロゴ導入の趣旨および適切な使用方法を逸脱した使用は一切認められません。